



若狭熊川・鯖街道

日本遺産に認定された海と都をつなぐ交流の道

若狭は古代より御食国(みけつくに)とされ、海産物や塩などを都へ運んでいました。若狭と京をつなぐ若狭街道は「鯖街道」と呼ばれ、食材のほか様々な物資や人、文化が行き交った交流の道であり、街道最大の宿場町が熊川宿でした。鯖街道をたどれば、1500年続く往来の歴史と伝統を守り伝える人々の営みを感じることができます。

マップ番号1



観る

熊川宿中ノ町の町並み

熊川宿の中ノ町は熊川宿の中心部にある町で、問屋や商家の町家が建ち並び、街道沿いには水量豊かな前川が流れている。平成8年には重要伝統的建造物群保存地区に選定。

若狭熊川宿



詳細は若狭熊川宿のHPをご覧ください



観る



町並み見学

古い町家が軒を連ねる町並みを語り部が案内。熊川の歴史や見どころをまごころ込めて説明する。(要予約)

活動・取り組みの紹介

街並み保存や景観向上のほか、町の公開民家を活用した民泊・喫茶事業をはじめ、夜の陶器の灯りとりによるライトアップ、秋の「熊川いっぶく時代村」のイベントなど来訪者との交流を図る事業も進めています。防災活動や空き家対策も行っています。

● お問い合わせ先

鯖街道熊川宿まちづくり協議会
福井県三方上中郡若狭町中央 1-1 若狭町観光工商課
TEL:0770-45-9111
http://kumagawa-juku.com/
メールアドレス:kankou@town.fukui-wakasa.lg.jp



食す



鯖寿司

古くから若狭湾の海産物の代表である鯖。昆布でしめた名物の鯖寿司やほど良く脂がのった焼き鯖寿司は県外でも好評。

食す



熊川くず

“寒晒熊川くず”は、若狭湾へそそぐ北川の上流で自生する葛の根を原料とし、清流でくり返し晒すことにより清浄無垢なさらし葛に仕上げたもの。寒風で乾燥した結晶体はまばゆい白さと際立つ風味を有する逸品。また、地元の夏の風物詩「葛まんじゅう」も美味で有名。

マップ番号3

観る



得法寺

元亀元年(1570)に、織田信長が豊臣秀吉と徳川家康を従え、越前朝倉義景を攻めるため、京都から熊川を通り敦賀へ向かった。このとき家康は得法寺に泊まったといわれている。

観る



平成の名水百選前川

街道沿いに流れる前川は、古くから生活用水として利用されてきた。各家の前には「かわと」と呼ばれる洗い場が設けられている。平成の名水百選に選定。

マップ番号2

観る



熊川城跡

若狭熊川城主 沼田氏の山城跡。主郭まで約15分で登れ、途中3か所のデッキからは、熊川の家並みや山々が望める。

マップ番号4

観る



熊川番所

宿場町入口にあった番所をもとの場所に復元。重要伝統的建造物群保存地区内に元位置のまま現存する、全国でも稀な歴史的建造物。建物内には役人の人形や弓矢、さすまたなどの道具が展示されている。

マップ番号5

観る 春 秋



松木神社

若狭の義民松木庄左衛門が祀られている神社。境内には昭和10年に庄左衛門の遺徳を顕彰するために建てられた義民館がある。熊川宿の中では桜と紅葉の名所となっている。

マップ番号7

学ぶ



若狭鯖街道熊川宿資料館 宿場館

宿場館は、昭和15年(1940)に熊川村役場として建てられた。熊川宿にはめずらしい洋風建築。現在は熊川宿の歴史や文化を学ぶ資料館として利用されている。

マップ番号8

遊ぶ 学ぶ



忍者道場

令和2年1月に開館した「若州(じゃくしゅう)忍者道場」。実際に忍者道着を着用し、日本忍者協議会認定の師範指導のもと、剣術や手裏剣術などさまざまな体験ができる。

マップ番号9

学ぶ



村田館

京懐石の老舗料亭「菊乃井」初代当主村田寅吉氏の生家で、「御食国若狭と鯖街道」の歴史や食文化を紹介している。町並み見学を語り部が案内。熊川の歴史や見どころを説明する(要予約)。

道の駅「三方五湖」

テラスから四季折々の風景や、野鳥を観察することができるロケーションの良い道の駅です。直売所では地元の野菜や福井梅をはじめとする特産品やお土産を多く販売しています。



道の駅「若狭おばま」

舞鶴若狭自動車道小浜ICそば。特産の鯖寿司、醤油干、和菓子、新鮮野菜、さらさらなちゃん割りに鯖カレー、OBAMAスムージーなどが人気。



道の駅「若狭美浜はまびより」

テラスを設けており、豊かな田園風景を眺めながらゆったり飲食などができ、屋上の一部に設ける展望テラスからは、野山や若狭湾の景色が楽しめます。

